

令和元年 12 月吉日

山形県理学療法士会会員 各位

一般社団法人山形県理学療法士会
会 長 岩井 章洋
職 能 局 長 黒田 昌宏

在宅における終末期リハビリテーションに関わる リハビリテーション専門職の役割に関する研修会の開催（ご案内）

謹啓 歳末の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

リハビリテーション医療は、終末期医療においても大きな意義と可能性を持つと提唱されているにもかかわらず、在宅における終末期患者のリハビリテーション介入はまだ少ないのが現状です。在宅終末期はがんのみならず心不全や呼吸器疾患、神経難病など疾患も様々で、多様な環境因子も重なり、個別性の強い対応を求められます。しかし、実際に在宅終末期のリハビリテーションに関わった経験のあるセラピストは少なく、即戦力となるセラピスト育成は喫緊の課題となっています。

そこでこの度、標記研修会を下記にて開催いたします。本研修会は、はじめにグループワークと全体ディスカッションを行い、多様な終末期のイメージや課題を共有します。その後、緩和ケアの分野でご活躍されている神谷浩平氏をお招きし、終末期におけるチーム医療とリハビリテーションの意義、人生会議（ACP）における理学療法士の役割についてご講義いただきます。

つきましては、ご多忙中のこととは存じますが、多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

謹白

記

日 時：令和 2 年 1 月 19 日（日）13:30～17:20（受付 13:00～）

会 場：山形県立中央病院 2 階講堂

山形県山形市大字青柳 1800 番地

講 師：山形県立中央病院 緩和医療科 神谷浩平 氏

内 容：①グループワーク「在宅終末期におけるリハビリテーション専門職の役割」、全体ディスカッション ②講義「いのちの終わりに向き合うとき～疾患別の予後を予測し、人生会議（ACP）を生かすリハビリ～」

参 加 費：無料

参加対象者：医療・介護・福祉関係者（理学療法士以外の方も参加可能です）

申込み方法：別紙の FAX 送信票に記入し、令和 2 年 1 月 15 日（水）までに FAX でお申し込みください。

※本研修会は平成 31 年度山形県在宅医療推進事業補助金を活用し開催します。

問い合わせ先

榎本敏明（在宅リハビリ看護ステーションつばさ 理学療法士）

TEL：023-627-7011

FAX：023-627-7012

F A X送信票

在宅における終末期リハビリテーションに関わる

リハビリテーション専門職の役割に関する研修会申込書

送信先：在宅リハビリ看護ステーションつばさ 天童サテライト

理学療法士 芦埜 達哉 行

F A X 023 - 656 - 8562

※ 上書き用紙の添付は不要です。

送信者： _____

施設名： _____

職 種	氏 名

◆ 令和2年1月15日（水）までにお申し込みください